

■ ケアマネジメント推進部会

※関連資料 別添 1

<部会等の検討テーマ／平成30年度中の到達目標>

大阪府における相談支援専門員個人のスキルと相談支援専門員を取り巻くシステムについて実情を整理し、人材育成の在り方をふまえて、今後国において改定予定の新たな相談支援従事者研修カリキュラムに対応した『大阪府相談支援専門員人材育成ビジョン』について検討を行う。

■ 平成30年度の開催実績

【第1回 平成30年7月9日開催】

- ・ケアマネジメント推進部会における検討事項について
- ・障がい児者の相談支援に関する実施状況調査結果について
- ・報告書の方向性と進め方について

【第2回 平成30年10月18日開催】

- ・報告書案について

■ 平成30年度の検討結果の概要

○相談支援従事者研修内容検討ワーキンググループ（WG）を設置し、7月以降概ね月1回程度の開催により、今後改定予定の新カリキュラム対応の研修内容（プログラム構成や演習マニュアル等）を作成し部会へ報告した。

【開催状況】7月25日、8月29日、10月10日、11月5日、12月3日、1月21日、2月20日、3月11日

○相談支援従事者の人材育成の充実にかかる取組みや必要性についての検討を行い、次年度に作成予定の報告書の骨子となる『大阪府相談支援専門員人材育成ビジョン』（求められる相談支援専門員像、各相談支援機関毎・階層毎に求められる力等をまとめた相談支援人材育成指標、等から構成）を作成する。

（※）第91回社会保障審議会障害者部会における「相談支援専門員研修制度の見直しに関する今後の取り扱い」に関する議論を踏まえ、国が告示の時期を延期し、今後必要に応じた検討・修正等を行うこととされた。このことにより都道府県等で実施される相談支援専門員の初任者研修及び現任研修の実施時期が2020年度以降となったことから、当初の予定では今年度で報告書をまとめることとされていたが、次年度にわたる2か年審議とした。

<今後の開催予定>

第3回 平成31年3月20日

- ・今年度審議経過及び今後の予定
- ・WGからの報告
- ・相談支援専門員人材育成ビジョン（案）

<部会等の検討テーマ／平成30年度中の到達目標>

高次脳機能障がい者への支援の実態にかかる調査を行い、支援に際する課題を具体的に把握するとともに、コンサルテーション事業や研修事業により地域の支援力向上を図る。また、普及啓発事業により、当事者・家族・支援者のみならず、一般府民に対する高次脳機能障がいの理解促進を目指す。

■ 平成30年度の開催実績

【第1回部会 平成30年7月11日開催】

- 平成29年度事業報告について
- 平成30年度事業計画（案）及び今後の方向性について

■ 平成30年度の検討結果の概要

〇府の高次脳機能障がい支援拠点機関である「障がい者医療・リハビリテーションセンター」における継続事業等について報告し、平成30年度事業計画（案）について様々な見地からの意見を伺った。

【平成29年度事業報告】

- 相談支援事業
障がい者医療・リハビリテーションセンターにおける支援状況について報告。
- 自動車運転評価モデル事業
既に自動車運転免許証を取得している高次脳機能障がい者の方が、安全に運転を再開できるかを考えていただくとともに、大阪府公安委員会（運転免許試験場適性試験係適性相談コーナー）に提出するための診断書を取得することを目的に実施。前年度に引き続き、実施事例における評価データ等を蓄積。
- 「地域で高次脳機能障がいの方々を支えるヒント集」の配布・周知
高次脳機能障がいの特性を踏まえた支援会議や事例検討型研修の例、各市町村における社会資源の活用例などを紹介したヒント集（平成29年度WGにて作成）の配布・周知を実施。

【平成30年度事業計画（案）及び今後の方向性について】

- 府内の高次脳機能障がい者への支援の実態に関するアンケート調査
府内の障がい福祉サービス事業所の支援に関する実態を具体的に把握することを目的として7月にアンケートを実施。年度内に集計し、結果概要をホームページに掲載予定。
- 高次脳機能障がい支援事例集の作成（2020年度末完成予定）
上記調査結果の分析、事業所へのヒアリングを実施し、事業所での支援等を紹介する事例集を作成。
- 高次脳機能障がい支援コンサルテーション事業
地域の支援力向上を図るため、希望する府内事業所に対してコンサルテーションを実施。
- 普及啓発促進事業（平成31年2月3日実施）
堺市社会福祉事業団へ委託し、一般府民等を対象とした理解促進のための普及啓発講演会を実施。
- 研修事業
医療機関向け、支援者向け、市町村職員向けのスキルアップ研修を実施。

■ 発達障がい児者支援体制整備検討部会（こどもWG・成人WG含む）

※関連資料 別添3

<部会等の検討テーマ／平成30年度中の到達目標>

- 平成25年度に策定した「発達障がい児者支援プラン」（以下、「旧プラン」という。）に基づき、5年間取り組んできた施策について、府の取組やこれによる市町村の展開等について検証・評価する。
- 市町村における発達障がい児者支援の取組状況についてアンケート調査やヒアリング調査を実施し、現状を把握する。また、取組状況のうち支援の引継の事例について検討し、未実施市町村での活用を図る。

■ 平成30年度の開催実績

■ 発達障がい児者支援体制整備検討部会

【第1回7月18日開催】

- ・旧プランの評価について
- ・平成30年度の主な取組について

【第2回11月12日開催】

- ・旧プランの評価について
- ・市町村における取組状況の把握
- ・平成30年度の取組の進捗状況 など

【第3回3月20日開催（予定）】

- ・市町村における「引継」に関する事例等について
- ・平成30年度の取組状況の進捗状況
- ・平成31年度の主な取組について など

■ こどもWG

【第1回9月5日開催】

- ・旧プランの評価について
- ・平成30年度の主な取組について

【第2回1月10日開催】

- ・市町村における「引継」に関する事例等について
- ・平成30年度の取組の進捗状況 など

■ 成人WG

【第1回10月23日開催】

- ・旧プランの評価について
- ・平成30年度の主な取組について

【第2回1月8日開催】

- ・市町村における「引継」に関する事例等について

■ 平成30年度の検討結果の概要

- 平成30年度の部会及びワーキンググループにおいては、「旧プラン」に基づき取り組んできた施策の効果検証を踏まえ、「旧プラン」の評価を実施し、12月に公表。
（旧プランの評価とその概要は別添資料を参照してください。）
- 新プランに基づき、市町村における支援の引継等の事例等のとりまとめについて、部会や各ワーキンググループ等の意見を参考にしながら検討している。

<掲載 URL：大阪府の発達障がい児者支援の取組>

http://www.pref.osaka.lg.jp/chuikiseikatsu/hattatusyogai_osaka/index.html

■ 障がい者虐待防止推進部会（障がい児者虐待防止支援専門委員会含む）

※関連資料 別添4

<部会等の検討テーマ／平成30年度中の到達目標>

厚生労働省「障害者虐待防止法に基づく平成29年度の対応状況等に関する調査」における大阪府の状況と虐待対応の取組みを報告し、今後の障がい者虐待防止施策について検討を進める。

■ 平成30年度の開催実績

【第1回 平成31年2月8日開催】

- ・平成29年度の大阪府内における障がい者虐待の対応状況について
- ・大阪府の取組みについて

■ 平成30年度の検討結果の概要

○大阪府の障がい者虐待の概要と取組みについて報告を行い、大阪府・市町村・関係機関の連携強化方策などについて意見交換を実施。（本部会は障害者虐待防止法第39条の「都道府県における関係機関との連携協力体制の整備」の趣旨をふまえ設置）

■平成29年度大阪府内における障がい者虐待の対応状況の概要について（調査結果）

- ・養護者による虐待：通報件数・虐待認定件数ともに全国最多。
施設従事者による虐待：通報件数・虐待認定件数ともに全国最多。
- ・養護者、施設従事者、使用者による虐待について、全国と比較して、大阪府の虐待対応における傾向を報告。

■大阪府の障がい者虐待対応に関する取組みについて報告

①市町村の虐待対応力の向上

- > 障がい者虐待防止研修の実施（市町村職員向け研修：基礎・現任）
- > 虐待対応市町村ワーキングの実施
市町村／虐待防止センター職員が自主的に研修できるテキストの作成（基本・実務・事例編）
- > 専門職派遣の実施（弁護士・社会福祉士による市町村への専門的助言）

②虐待の早期発見、未然防止

啓発用リーフレットの作成・配付

③その他

障がい福祉サービス事業所職員向け虐待防止研修の実施、
障がい福祉サービス事業所に対する実地指導、
使用者虐待における労働局との連携、DV対応における連携

■警察や労働局との実務連携、関係機関との連携強化策、今後の部会のあり方について意見交換を実施。

<掲載 URL：大阪府障がい者自立支援協議会障がい者虐待防止推進部会の概要>

http://www.pref.osaka.lg.jp/chiikiseikatsu/shogai-chiki/gyakutaiboushi_bukai.html

■ 地域支援推進部会（精神障がい者地域移行推進 WG・基盤整備促進 WG 含む）

※関連資料 別添5

<部会等の検討テーマ／平成30年度中の到達目標>

第5期障がい福祉計画の最重点施策である「入所施設や精神科病院からの地域生活への移行の推進」を着実に進めるため、市町村の取組み等現状把握と課題整理を行い、府としての支援策について検討する。

■ 平成30年度の開催実績

■ 地域支援推進部会

【第1回 9月11日開催】

- ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る「市町村単位の協議の場」について【報告】
- ・退院患者調査について【報告】
- ・基盤整備促進 WG の設置について

■ 精神障がい者地域移行推進WG

【第1回 6月8日開催】

- ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る「市町村単位の協議の場」について
- ・退院患者調査について

【第2回 3月18日開催】

- ・退院患者調査について
- ・長期入院精神障がい者退院促進事業について

■ 基盤整備促進WG

【第1回 11月16日開催】

- ・基盤整備促進ワーキンググループの進め方について
- ・地域生活支援拠点等の取り組むべき方向性について

【第2回 2月28日開催】

- ・地域生活支援拠点等の整備促進について
- ・施設入所者の地域移行について

■ 平成30年度の検討結果の概要

○市町村へのヒアリングや第5期障がい福祉計画に係るPDCAサイクルを通じて進捗状況を把握するとともに、計画に掲げた目標達成に向けた支援策等について検討した。

【精神障がい者地域移行推進WG】

○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る「市町村単位の協議の場」の設置・運営支援として、市町村向けの手引きを作成し（6月）、市町村に説明を行い（7月）、協議の場の設置について働きかけた。

○精神科病院からの地域移行について検討するため、退院患者の退院後の行き先等を調査する退院患者調査を実施した（9～11月）。

○長期入院精神障がい者退院促進事業の実施状況を報告し、専門的見地からご意見をいただいた。

【基盤整備促進WG】

○地域生活支援拠点等の整備及び入所施設からの地域移行について、府内市町村の取り組みを促進するため、基盤整備促進 WG を設置した（11月）。

○地域生活支援拠点等について、市町村における整備促進に向けた方策を議論した（平成31年度前半に成案化の予定）。

○入所施設からの地域移行について、市町村や関係機関へのヒアリングを通じて、現状・課題の把握と論点の整理を行った。

<掲載 URL：大阪府障がい者自立支援協議会地域支援推進部会の開催状況>

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shisetsufukushi/chiikibukai/kaisai.html>

■ 就労支援部会（工賃向上委員会含む）

※関連資料 別添6

＜部会等の検討テーマ／平成30年度中の到達目標＞

[テーマ]就労支援、関係機関のネットワーク充実、工賃向上支援

[到達目標]・障がい者の就労支援施策や関係機関のネットワークの充実について審議することで、第4次障がい者計画の最重点施策である「障がい者の就労支援の強化」を推進する。

・福祉施設で働く障がい者の賃金向上を図る。

■ 平成30年度の開催実績

■ 就労支援部会

【第1回 7月30日開催】

- ・第4期大阪府障がい福祉計画に係る平成29年度成果指標及び活動指標達成状況の評価、検討について（審議）
- ・大阪府における行政の福祉化の推進のための提言についての情報提供
- ・地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に基づく障がい者支援施設等に準ずる者の認定について

【第2回 12月11日開催】

- ・就労定着支援事業の実施状況について（報告）
- ・市町村の就労支援部会における取り組み状況について（報告）
- ・障がい者就業・生活支援センターの取り組み状況について（報告）

【第3回 3月19日開催予定】

- ・次年度における障がい者就労支援の取り組み（審議）
- ・その他

■ 工賃向上計画の推進に関する専門委員会

【第1回 7月5日開催】

- ・工賃向上計画支援事業の進捗状況について
- ・工賃向上計画（平成30年度から平成32年度まで）の策定について

【第2回 11月28日開催】

- ・工賃向上計画支援事業の進捗状況について
- ・事業所の工賃向上に関するモデル事例収集と成功要因の分析に係る調査研究報告（講演）
- ・優先調達の効果の見える化について（講演等）

【第3回 3月26日開催予定】

■ 平成30年度の検討結果の概要

【就労支援部会】

- 第4期障がい福祉計画のPDCAサイクル管理用シート及び平成29年度就労人数調査の結果を基に、計画に掲げる目標等について、平成29年度の事業実績に係る評価・取組改善等を審議した。
- 「大阪府社会福祉審議会 行政の福祉化推進検討専門部会」にて取りまとめられた「大阪府における行政の福祉化の推進のための提言」について情報提供を行った。
- 地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に定める障害者支援施設等に準ずる者の認定について意見聴取した。
- 平成30年度に創設された「就労定着支援事業」を実施している事業所から講師を招き、実際の支援内容や、実施する中で感じた課題等について報告を受けた。また、地域の取り組み状況を把握するため、府内市町村の就労支援部会の取り組みを報告するとともに、障害者就業・生活支援センターから講師を招き、各センターの先進的な取り組みについて報告してもらった。
- 平成30年度に大阪府が行った取組についての報告を行うとともに、次年度以降の施策の推進方向や具体的取り組みについて、審議する。

【工賃向上計画の推進に関する専門委員会】

- 工賃向上計画支援事業の進捗状況を報告するとともに、平成30年度から平成32年度までの新たな工賃向上計画の策定について審議した。
- 2名のゲストスピーカーを招き、工賃向上の好事例の紹介とその成功要因及び優先調達の効果の見える化について講演いただいた。
- 今後、優先調達の効果の見える化について調査分析を実施予定。

＜今後の予定＞

- 第5期障がい福祉計画の目標達成に向け、取組みについて検討する。

■ 府域における均衡ある障がい者スポーツ支援体制等のあり方検討部会

※関連資料 別添7

＜部会等の検討テーマ／平成30年度中の到達目標＞

- 府域における均衡ある障がい者スポーツ支援体制の確保等の観点から、府としての障がい者スポーツ施策の方向性を明らかにした上で、稲スポーツセンターの施設機能のあり方と併せて、指定管理者が公募により変更されたときも利用環境の継続性を確保できる手法を検討する。
- この検討により、稲スポーツセンターが、府域の障がいのある方々やこれら施設を利用する障がいのある方々にとって、より良い施設とすること等をめざす。

■ 平成30年度の開催実績

【第1回 5月18日開催】

- ・部会運営等について
- ・稲スポーツセンターに係る背景や現状等について
- ・検討
 - ①検討の方向性と進め方等について
 - ②利用環境の継続性の確保について
 - 利用者の声や利用状況を「教室・プログラム」等に反映させる仕組み、「教室・プログラム」等の変更の際の利用者対応のあり方
 - 指定管理者が変更される場合の「教室・プログラム」やその講師との関係等を継続する手法のあり方
- ・次回部会について

【第2回 7月3日開催】

- ・第1回部会の論点整理について
- ・稲スポーツセンターの広域拠点性の確保について
 - 府立支援学校等に対する支援及び連携のあり方
 - ファインプラザ大阪、ビッグ・アイ等との連携のあり方
- ・次回部会について

【第3回 9月5日開催】

- ・第2回部会の論点整理について
- ・中間報告について
- ・次回部会について

【第4回 11月27日開催】

- ・最終報告について

■ 平成30年度の検討結果の概要

○府の障がい者スポーツの中核機関である「府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）」の機能等を活かし、誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツに参加できる環境を整備していくことが重要。府立稲スポーツセンターにおいても、これまで果たしてきた役割や機能を維持しながら、広域拠点性を確保していく必要がある。

○このため、第1回部会（5月18日開催）では、本部会において「利用環境の継続性の確保」と「広域的拠点性の確保」を主軸に検討していくこととし、先ず「利用環境の継続性の確保」として

- ・利用者の声や利用状況を「教室・プログラム」等に反映させる仕組み、「教室・プログラム」等の変更の際の利用者対応のあり方
- ・指定管理者が変更される場合の「教室・プログラム」やその講師との関係等を継続する手法のあり方

について検討。

○第2回部会（7月3日開催）では、「広域的拠点性の確保」として

- ・府立支援学校等に対する支援及び連携のあり方
- ・ファインプラザ大阪、ビッグ・アイ等との連携のあり方

について検討した。

○これらの検討を踏まえ、第3回部会（9月5日開催）において、中間報告を取りまとめ。

○第4回部会を11月27日に開催し、最終報告（別添のとおり）を取りまとめた。

＜掲載 URL：府域における均衡ある障がい者スポーツ支援体制等のあり方検討部会概要＞
<http://www.pref.osaka.lg.jp/jiritsushien/jiritsushienka/inasupoarikatakentou.html>